

旧庁舎跡地利用計画の考え方

本町では旧庁舎跡地利用に向けて、平成 30 年 2 月に「与論町役場旧庁舎跡地利用検討委員会」を設置し、同年 11 月には「与論町役場旧庁舎跡地利用アンケート」を実施する等して、町民の意見をいただけてきました。

アンケート結果等の町民の意見を踏まえ、役場内にて検討を進め、以下のとおり考え方を策定しました。この考え方に基づき、令和3年度までに「旧庁舎跡地利用計画」を策定するため、同委員会において検討を進めていきます。

1. 計画策定の際の留意点

町民アンケート結果を踏まえ、以下の点に留意します。

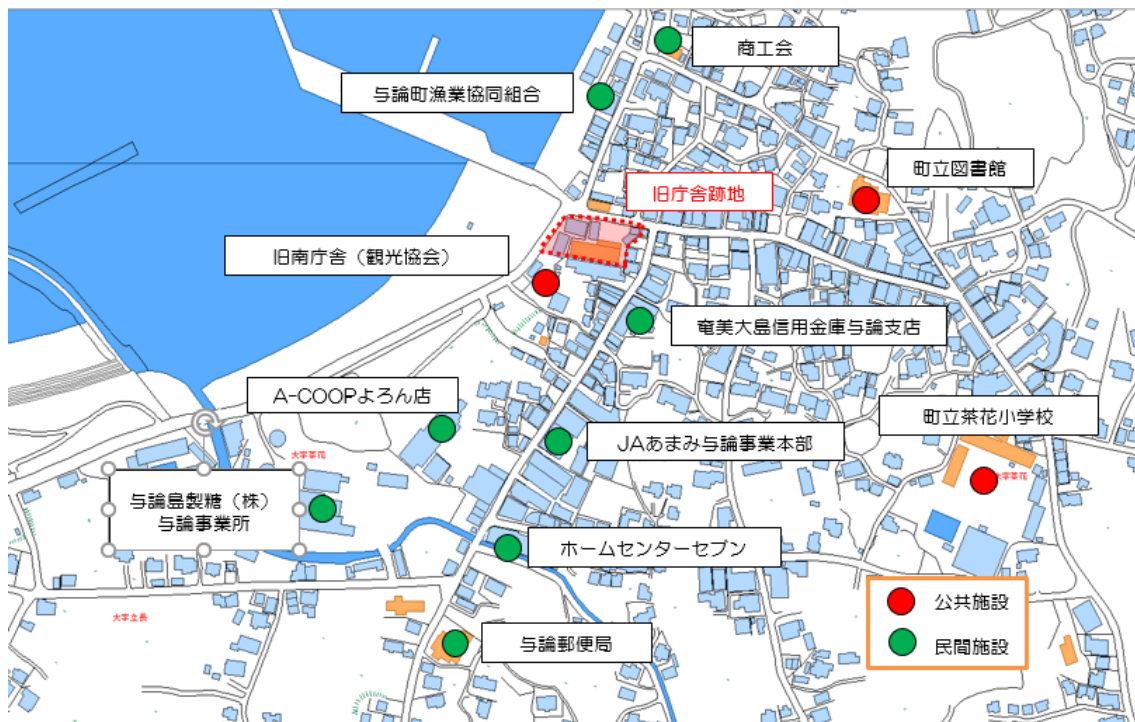
① 町の財政負担の軽減

本町の厳しい財政状況を踏まえ、財政負担の少ない整備を行います。

② 周辺環境への配慮

庁舎跡地は、本町で最も人口が集中する茶花市街地にあり、周辺には地元商店街をはじめ、町民の生活に身近な施設が集中しているため、防砂対策等を実施し周辺の街並みや景観に配慮します。

【旧庁舎跡地周辺の環境】



2. 整備する機能

町民アンケート結果において、旧庁舎跡地に期待する施設・用途として支持の多かった「公園や広場」を中心とし、賑わいを生み出すような町民の交流の場になる機能を備えた整備を検討します。

また、できる限り箱物を整備しないことで、町民の方々がさまざまな用途で利用できるようなスペースとします。

【整備イメージ】

- 自然（芝生、植林により防砂対策等を実施）
- 憩い・交流の場（サンゴ祭りや小規模イベント時に利用できるスペース）

3. 今後の協議の進め方

令和3年度までに「旧庁舎跡地利用計画」の策定を目指し検討を進めていきます。

